

<p>【Pグレード】 (年少下/2～3歳児)</p>	<p>本格的な学習が始まる年少グレードの導入段階です。 知力（空間・思考力）、数能力、言語能力の基礎である図形能力を、楽しく図形遊びを通していろいろな図形的内容の刺激を経験し、たくさんの作業を通して指先能力を高めます。また、空間位置の把握の基礎、思考方法の土台を築き、1と2の区別、基礎的な数量感覚の育成と日常生活で見えるもの、触れるものの名前を学ぶことが目標です。</p>
<p>【Yグレード】 (年少/3～4歳児)</p>	<p>頭の中で補助線を引き、線の長さ、角度への注意が始まります。指先能力の完成をできるだけ早く発達できるように、切り方、折り方を丁寧に楽しんで行います。また、三次元空間把握能力を育てるために、空間概念を理解することが目標です。数能力は、1～3、1～5の数を正しく認識することが目標です。能力の発達に伴う言語は、この時期から言葉が爆発的に増えます。日常会話に使う名詞の理解と読みを進めます。</p>
<p>【Gグレード】 (年中/4～5歳児)</p>	<p>精神的・知的発達の爆発的発展時期です。図形把握能力、空間把握・思考力、数論理能力、言語能力を高いレベルで刺激しなければなりません。次の完成段階への最も大切な時期です。図形では合成、分解、分類、対称化や点と面を理解します。基本知力では、構成把握、合成分解、全体把握、判断力の育成を育成します。そして手指の巧緻性の向上、筆圧・運筆能力の完成です。数論理は、5進法の数論理能力育成と1～10の数認識と加減暗算を行います。言語においては、音韻、音節分解、しりとり、仲間外れなどを学び、読本の自立を目標とします。</p>

<p>【Mグレード】 (年長/5～6歳児)</p>	<p>5～6歳児で人間的知的能力のすべての基礎が完成します。知識や技術の記憶力を問うような教育法に馴染まないうちに、生きていくのに必要な問題解決能力や学ぶ力を育てます。</p> <p>これまで行ってきた4種類の図形遊びが完全にできなくてははいけません。また、各種の平面図形の名称を覚え、図形の3要素をもって図形を見分けることができ、空間把握力と関連し、学び、思考する基礎能力となります。指先能力は、ちょうちょ結び、お箸で豆をつまむ、鋏を自在に操ることは容易にできることが目標です。基本知力においては、方向、比較、比重、順番、正誤などの頭の中でイメージし、理解を深めます。数論理は20までの数の認識、加減暗算の完成です。さらに100以上の数認識、加減暗算も目標とします。言語においては文章を読むことの完成です。文字を拾い読みするのではなく、読解するのです。</p>
<p>【他グレード】 (小学1～4年生程度)</p>	<p>個々の生徒によって能力に差がございますので、個別にご相談ください。</p>